



## 私の3冊

三木貴弘

### 後輩に薦める 2 冊

坂井建雄（監修）、町田志樹（著）

PT・OT ビジュアルテキスト専門基礎

**解剖学** 羊土社，2018 年発行

解剖学はセラピストであれば誰もが知っておくべき知識であることは間違いないと思いますが、その際に読んでほしい 1 冊です。解剖学の常識は時代とともに少しずつ変わってきていますが、最新のエビデンス、発見を盛り込んでわかりやすくまとまっています。また、臨床に直結するようなコラムもあることで読みやすくなっており、新人や若いセラピストにお薦めする 1 冊です。

新谷 歩（著）

**今日から使える医療統計** 医学書院，2015 年発行

研究の知識は、実際に研究を行うだけではなく、医学論文を読む際にも必須です。その際にお薦めしたい 1 冊です。医療統計の書籍ですが、難しい数式などは出てこず、医療統計に抵抗がある方でも読みやすいです。医学論文を読む際または研究を始めたい場合の基本的な知識が手に入ります。この 1 冊を読むことで医療統計の苦手意識が消え、本質を学ぶことができると思います。

### 自分の 1 冊

赤坂清和、竹林庸雄（監修）、三木貴弘（編集）

痛みの理学療法シリーズ

**非特異的腰痛のリハビリテーション** 羊土社，2018 年発行

恐縮ですが、自分の書籍を紹介させてください。私は腰痛、特に非特異的腰痛に興味がありますが、日本では非特異的腰痛に対してまとまった書籍がありませんでした。この書籍は非特異的腰痛に関して、世界での最新のエビデンス、常識、考え方をまとめています。世界でいわれているスタンダードを日本の多くの人に知ってもらいたい、という一心でこの書籍を作り上げました。この書籍をきっかけにして一人でも多くのセラピストが非特異的腰痛の正しい知識を得て臨床に活かしていただけたら嬉しく思います。

■ みき・たかひろ 理学療法士 12 年目 札幌円山整形外科病院リハビリテーション科

整形外科病院で術後、保存療法の運動器疾患のリハビリテーションを主に担当しています。また、大学院にも通い臨床研究も行っています。数年間オーストラリアに留学し、そこで現在の研究テーマである腰痛について興味を持ちました。これまでのセラピスト人生で研究や臨床を行うにあたりさまざまな書籍を参考にしましたが、上記 3 冊は私が若い時にあればぜひとも読みたかった 3 冊です。